

## DV被害者支援団体へのヒアリングの実施

富山県内でDV被害者支援に取り組む団体に、最近のDV被害の現状や課題についてヒアリングを実施。

1. ヒアリング期間 令和元年9月3日～令和元年9月9日

2. ヒアリング団体 DV被害者支援に取り組む団体

高岡DV被害者自立支援基金パサパ  
NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト  
グループ女綱～ストップDVとやま～  
一般社団法人ウィメンズカウンセリング富山

### 3. 現状と課題

#### (1) 暴力の形態の変化

- ・身体的暴力の被害は減ってきているが、人格の否定や言葉の暴力といった精神的暴力、モラルハラスメントの被害が増えてきている。
- ・FaceTime やドライブレコーダー等が普及したことで、加害者の行動監視や束縛も強くなってきている。

#### (2) 住居の問題

- ・被害者は加害者から逃れても住むところがなく、保証人がいないため住居を借りることもできない。そのため、家を出たくても出られない（加害者から逃れたくても逃れられない）被害者もいる。

#### (3) シェルターやステップハウスの課題

- ・若年女性が気軽に相談できる場所や緊急時に避難できるシェルター、住居の問題のために家を出られない被害者や一時保護後の女性を保護するステップハウスなどが必要である。

#### (4) DVと児童虐待等との関連

- ・児童虐待や貧困家庭などあらゆる問題の根幹にDVがあることを、もっと意識する必要がある。
- ・DV家庭で育った子どもへの心理的ケアが必要である。

#### (5) 支援体制の地域差

- ・相談体制や関係機関との連携支援など、市町村によりDV被害者支援に差が出ている。

#### (6) 支援者の問題

- ・支援者の高齢化が進み、これまでの経験を伝えていくことに不安を感じている。
- ・大学生のボランティアや若い世代にも、DV被害者支援に興味を持ってもらい、支援者を増やしていく必要がある。